

# 取り付けと接続

## NVX-DV5

Sony Corporation ©2000 Printed in Japan



本機の接続コードの色は、EIAJ\*コードカラーに準拠しています。

\*EIAJは、日本電子機械工業会の略称です。

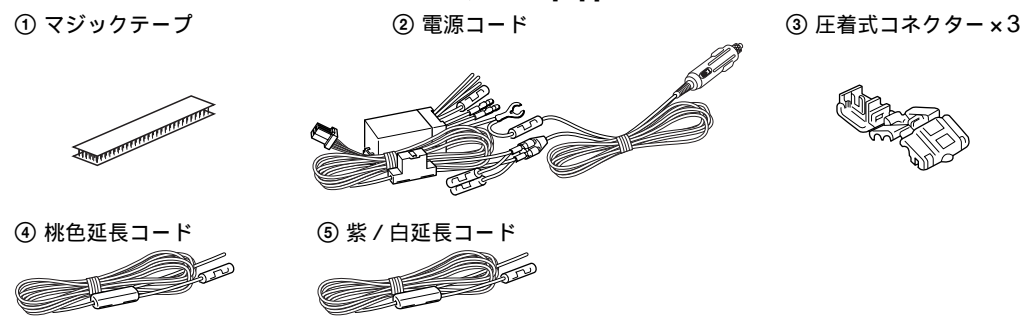
### 販売店様へお願い

本機の取り付け後、この「取り付けと接続」は、必ずお客様へご返却ください。

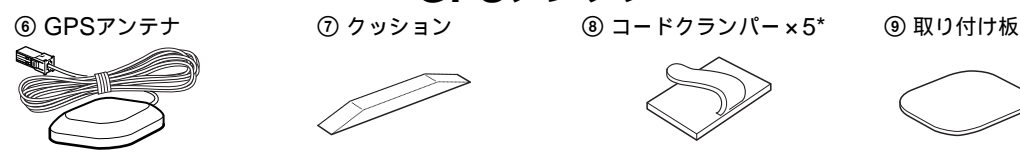
## 付属品の確認

この「取り付けと接続」に記載されている取り付け先または接続先の機器は、すべて別売り品です。ただし付属品は除きます。

### ナビ本体

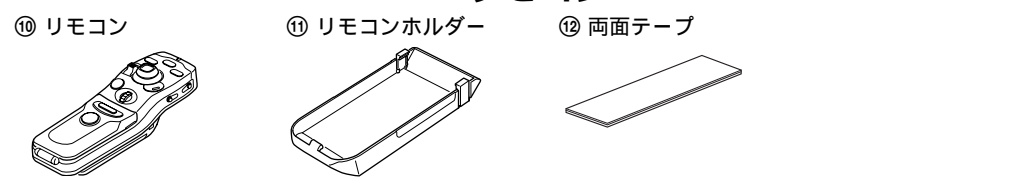


### GPSアンテナ



\*⑥コードクランパーは、⑨リモコン受光部や⑬セーフティーセンサー、⑭音声認識用マイクの接続にも使用します。後の作業で足りなくならないように上手に配分してください。

### リモコン

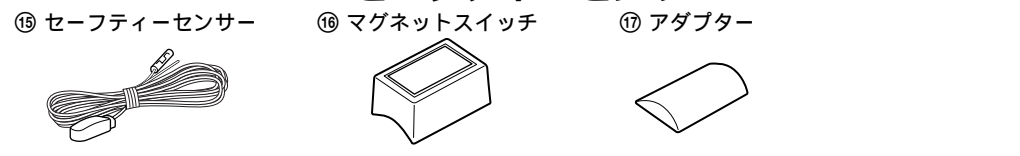


### 市販モニター接続

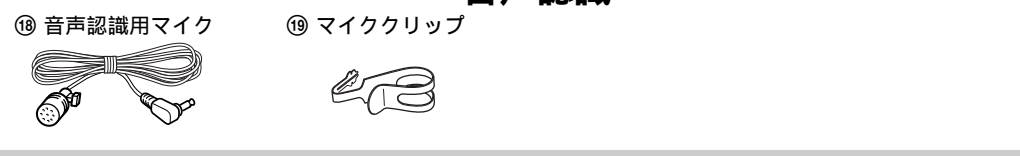
(別売りのソニーモービルカラーテレビを接続する場合、市販モニター接続部品は使用しません。)



### セーフティーセンサー



### 音声認識



## ソニーFAXインフォメーションサービスのご案内 (FAX付電話をご利用になれます)

カーフィッティングFAXサービス 車種メーカー、車種・車種形式別のカーオーディオ部の取り外し方法、各種センサー位置等の資料  
①インデックスの入手 / 03-3552-7209 → 車種メーカー別のBOX番号を受信  
②資料請求 / 03-3552-7488 → アナウンスに従いご希望の車種の該当BOX番号を入力してください。

24時間  
お手元のFAXで  
資料が取り出せます

•ソニーFAXインフォメーションサービスをご利用の際のインデックス入手料・資料請求は通話料のみお客様のご負担となります。またFAXの機能によっては受信できない場合があります。  
•FAXサービスのメンテナンス日は 毎月第2木曜日 午前8:00~午後11:00となっております。ご迷惑をおかけしますが、当日前記時間帯は資料を取り出すことはできません。ご了承ください。(第2木曜日が祭日の場合は前日の水曜日をメンテナンス日とさせていただきます。)

カーナビゲーション製品の保証期間中の操作や取り付け・接続、故障に関するお問い合わせは  
テクニカルインフォメーションセンターへ  
(モービルエレクトロニクス専用)  
0120-64-0131 (フリーダイヤル)

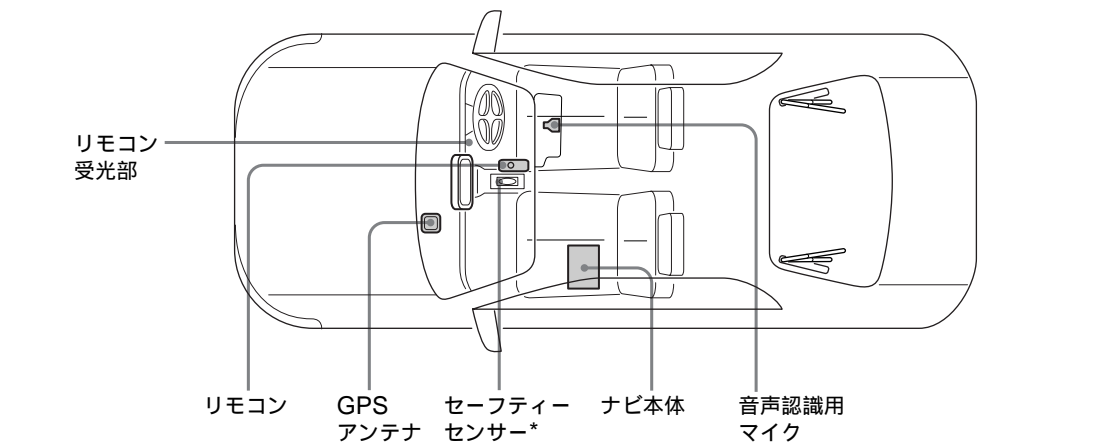
ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35  
お問い合わせはお客先ご相談センターへ  
●セビダイヤル 0570-00-3311  
(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)  
●携帯電話・PHSでのご利用は 03-5448-3311  
●Fax 0466-31-2595

この説明書は再生紙を使用しています。



## 取付場所の確認

下図のように取り付けられるかどうか、ご使用になっている車に合わせて各機器を配置してください。



- 1 イグニッションキーをOFFにするか、キーを抜いておく
- 2 仮置きして(上図参照) ケーブルの長さやモニターの位置などを確認する

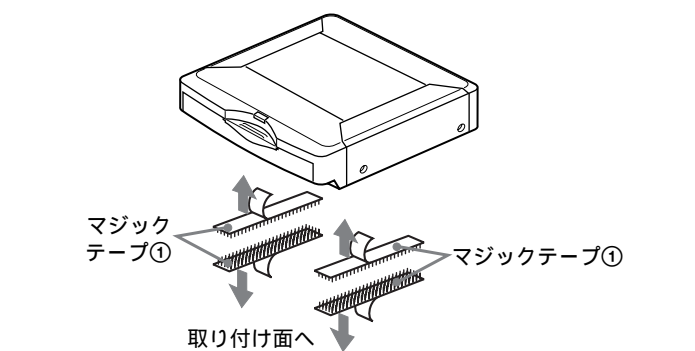
## 1 ナビ本体を取り付ける

### ●ご注意

- マジックテープは、後の作業で足りなくならないように上手に配分してください。
- 横置き位置で水平5°以内に、また、地図ディスクの出し入れが容易な所に取り付けてください。
- 取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。
- 次のような場所への取り付けは避けてください。
  - 高温になる場所
  - 直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける場所など、温度が極端に高い場所

### マジックテープ①を必要な分だけ切り、カーベツトなどに取り付ける

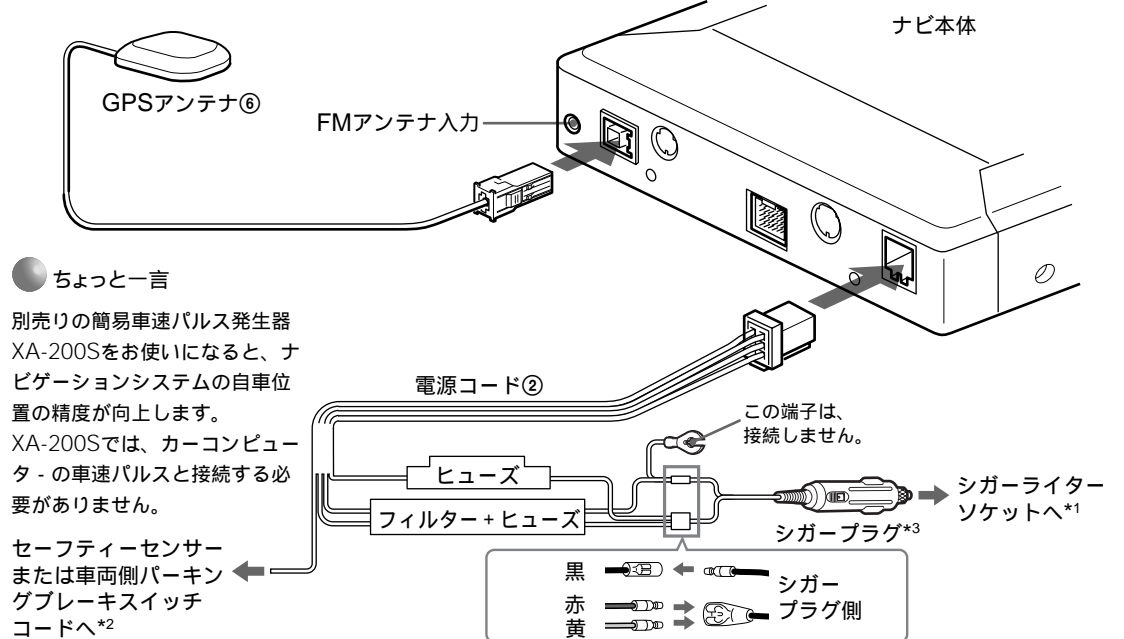
本機の自車位置を読み取る精度が充分機能するように、必ず、水平で5°以内に、しっかりと取り付けてください。



マジックテープは、底面中央の銘板を避けて貼ってください。

## 2 ナビ本体と接続する

下記以外の接続については、裏面の「接続図」に従ってください。



### ●ちょっと一言

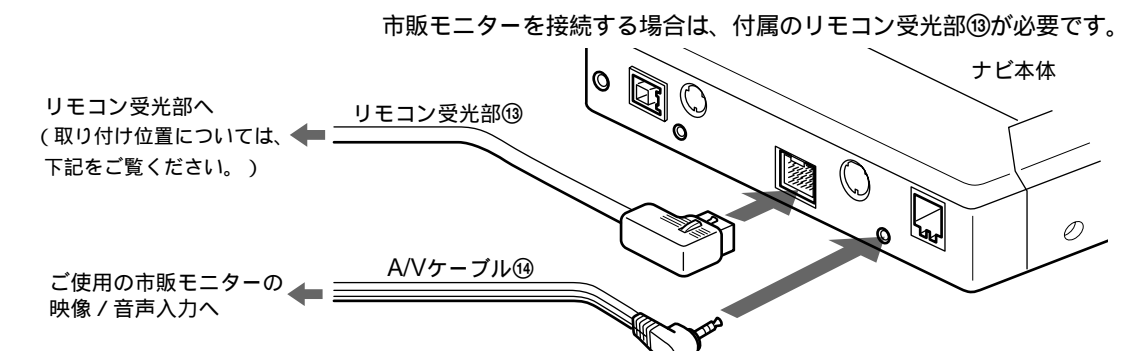
別売りの簡易車速パルス発生器XA-200Sをお使いになると、ナビゲーションシステムの自車位置の精度が向上します。XA-200Sでは、カーコンピュータの車速パルスと接続する必要があります。

セーフティーセンサーまたは車両側パーキングブレーキスイッチコードへ<sup>2</sup>

### ●ご注意

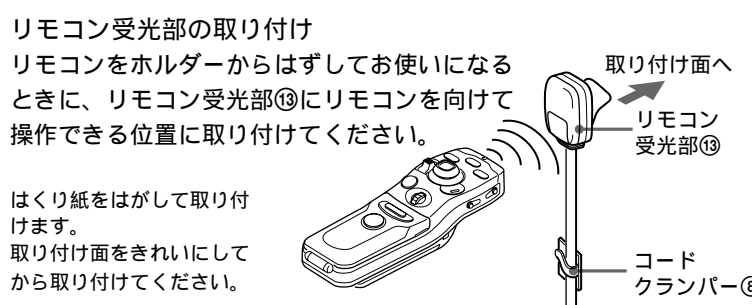
- シガーライターソケットの中に煙草の灰や異物が入っていると、接続不良を起こし、シガープラグ部分が熱くなります。お使いになる前に、必ず点検、清掃をしてください。
- \*1 作業中の事故防止のため、シガーライターソケットへは最後に接続してください。
- \*2 パーキングブレーキスイッチコードに接続しないと、ナビゲーションシステムが走行中と誤ってしまい、設定や登録などの複雑な操作ができなくなります。詳しくは、裏面の「セーフティーセンサーの取り付けかたについて」または「各コードの接続について」をご覧ください。
- \*3 お買い上げ時は、接続された状態になっています。一部の車種によっては、車両側のシガーライターソケットに本機のシガープラグがうまく差し込めないことがあります。シガープラグを使用しない場合は上記イラストの部品をはずして車両側の配線へ接続してください。

## 3 ご使用の市販モニターと接続する



### ●ちょっと一言

別売りのソニーモービルカラーテレビを接続する場合、リモコンの操作はモニター受光部に向けて行いますので、リモコン受光部は不要です。



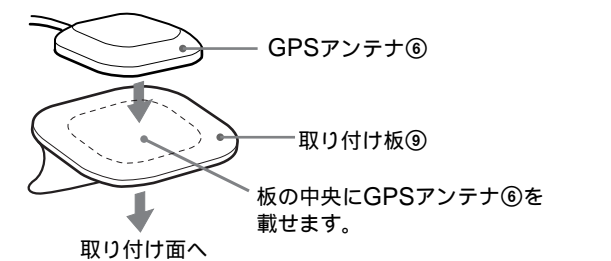
取り付けと接続が終わったら、コードは運転の妨げにならないようにコードクランパー⑥で固定してください。

## 4 GPSアンテナを取り付ける

### ●ご注意

- 一部のウィンドウガラスには、GPS衛星の電波を通さないものがあります。GPSアンテナを車内に取り付け受信状態が不安定なときは、1度アンテナを車外に取り付けて受信してみてください。
- ダッシュボードやリアトレイなど、なるべく水平な場所に取り付けてください。
- 取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。

### 取り付け板⑨の中央にGPSアンテナ⑥を載せ、裏面のはくり紙をはがして取り付け面へ固定する



両面テープで貼り付ける前に、車内のインテリアやワイパーブレードの陰に隠れないよう、正しく受信できることを確認してください。また、車両機器の動きの妨げにならないことを確認して、取り付けてください。

## 5 セーフティーセンサーを取り付ける

### ●ご注意

- セーフティーセンサーとマグネットスイッチの間は、必ず5mm以内になるように取り付けてください。正しく取り付けないと、ナビシステムが走行中と過ってしまい、設定や登録などの複雑な操作ができなくなります。またテレビ画面が映りません。
- ご使用の車がマニュアル車またはコラムオートマチック車の場合は、裏面の「各コードの接続について」を参照してパーキングブレーキスイッチコードを接続してください。

ご使用の車がオートマチック車の場合、ナビ本体の若草色(パーキングブレーキ)コードを車両側のパーキングブレーキスイッチコードに接続するかわりに、セーフティーセンサー⑬を使うことができます。マニュアル車やコラムオートマチック車の場合は、裏面の「各コードの接続について」をご覧ください。取り付けの手順について詳しくは、裏面の「セーフティーセンサーの取り付けかたについて」をご覧ください。



ご使用の車のシフトレバーに取り付けます。イラストは縦方向に取り付け例です。

## 6 音声認識用マイクを接続する

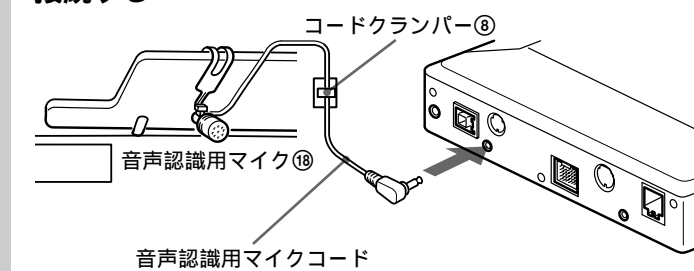
コードを固定するときは、付属のコードクランパー⑥をご使用ください。

### 1 マイククリップ⑱を取り付ける

音声認識用マイク⑱の後ろ側から、「カチッ」と音がするまで差し込みます。



### 2 ご使用の車のサンバイザーに取り付け、ナビ本体に接続する



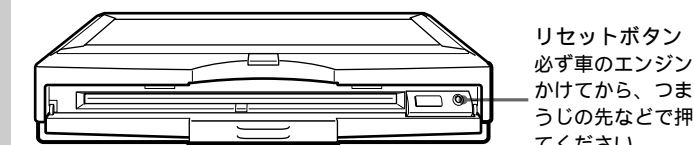
## 7 車のエンジンをかけて、ナビを起動させる

### 1 電源コード②を車に接続し、エンジンをかける

電源コード②の接続については、裏面「接続図」をご覧ください。

### 2 ブレーキランプやライト、ホーンウインターなど、すべての電装品が正しく動作することを確認する

### 3 モニターの電源を入れ、ナビ本体のリセットボタンをつまようじの先などで押す



リセットボタン必ず車のエンジンをかけてから、つまようじの先などで押してください。

リセットボタンを押すと、ナビのオープニング画面がモニターに映り、ナビが立ち上がります。

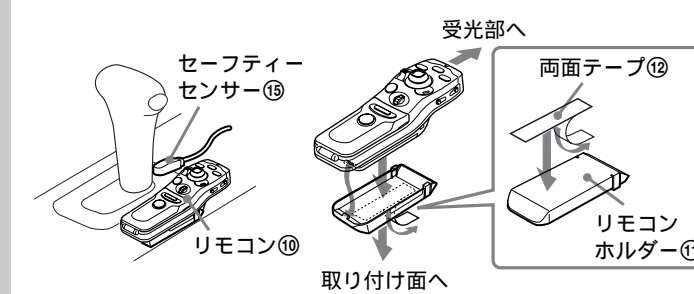
## 8 リモコンを取り付ける

### ●ご注意

- 次のような場所への取り付けは避けてください。
  - セーフティーセンサーの妨げになる場所
  - シフトレバーやサイドブレーキなどの操作の妨げになる場所
  - 運転席、助手席のシートの前後、上下など可動部の妨げになる場所
  - ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の熱によって変型するおそれのある場所
- 取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。

### 両面テープ⑲で、リモコンと受光部が向き合うように取り付ける

シフトレバーの脇などの操作しやすい場所に固定してください。



両面テープを取り付ける前に、リモコン操作が正しくできていることを確認してください。セーフティーセンサーを取り付ける場合は、(裏面「セーフティーセンサーの取り付けかたについて」参照)、セーフティーセンサーの妨げにならないことも確認してください。

# 警告 安全のために

## 警告表示の意味

「取付接続説明書」および取扱説明書、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

- 警告** この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。
- 注意** この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

## 注意を促す記号



下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡**や大けがの原因となります。

**禁止** 本機はDC12Vマイナスアース専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。

**禁止** 前方の視界を妨げる場所に取り付けられない。前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。

**禁止** 助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付けられない。動作の妨げになる場所に取り付けると、エアバッグが正常に動かず、けがの原因となります。

**禁止** 運転操作や車体の可動部を妨げないように取り付けられない。運転の妨げになる場所、車体の可動部の妨げになる場所に取り付けや配線をする、事故や感電、火災の原因となります。  
●ネジやシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない。  
●コード類はまとめる。  
●ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。

**雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付けられない。**  
上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。

取り付け、接続作業をするときには、必ずイグニッションキーをOFFにするか、キーを抜いておく。イグニッションキーをONにしたまま作業すると、バッテリーが上がりや、ショートによりヒューズ飛びや発煙などの危険があります。

**禁止** パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけない。火災の原因となります。車体に穴を開けて取り付けるときは、パイプ類、タンク電気配線などの位置を確認してください。

ステアリングやブレーキ系統、タンクなどにある車の性能を維持するための部品を使わない。車体のボルトやナットを利用するとき、ステアリングやブレーキ系統、タンクなどの部品を使うと、制動不能や火災の原因となります。

**分解や改造をしない。** 火災や感電、事故の原因となります。電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源を取ると、リード線の電流容量を超えてしまいます。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

**規定容量のヒューズを使う。** ヒューズを交換するときは、必ず電源コードのヒューズまたは本体に記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。

**シガーライターソケットを点検・清掃する。** シガーライターソケットの中に煙草の灰や異物が入っていると、接触不良を起こし、シガープラグ部分が熱くなります。シガープラグが発熱すると、火災などの重大事故の原因となります。

**注意** 下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

**禁止** 安定した場所に取り付ける。振動の多いところや、天井などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。

**禁止** TVアンテナは車体からはみ出さないように取り付けられない。歩行者などに接触し、事故の原因となることがあります。

**付属の部品で正しく取り付けられないと、火災やけがの原因となることがあります。**

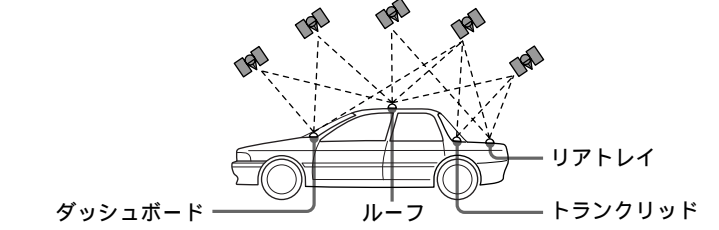
**禁止** 本機の通風口や放熱板をふさがれない。フロアカーペットの内側やマットの下などに設置して通気口や放熱板などをふさぐと、内部に熱がこもり、火災などの重大事故の原因となります。

**禁止** アンテナは確実に両面テープで固定する。車体や歩行者などに接触し、事故の原因となることがあります。

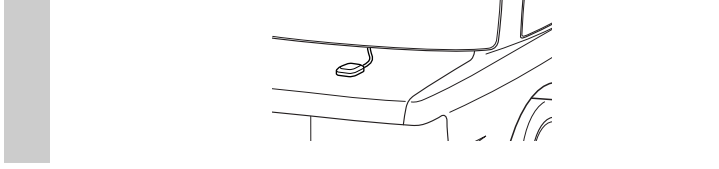
## GPSアンテナの取り付けについて

### 車外に取り付ける場合

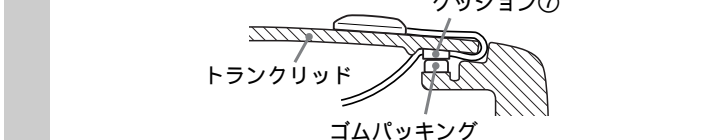
GPSアンテナ⑩は、磁石で取り付けます。GPS衛星の電波が車のボディなどで遮られない場所（車外のルーフやトランクリッドなど）に、水平に取り付けてください。



**1** トランクリッドなどの上に取り付ける。取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。



**2** トランクリッドの裏側にクッション⑦を取り付ける。雨水がコードを伝わって車内に侵入しないように、トランクリッドを閉めたときに、ゴムパッキングの上にクッション⑦が当たるように取り付けてください。



**車内に取り付ける場合** ダッシュボードやリアトレイに取り付けます。平らな位置に、GPSアンテナが水平になるように取り付けてください。取り付けかたについては詳しくは、裏面の「4」GPSアンテナを取り付ける」をご覧ください。



## 接続図

必ず接続先の機器に付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。取り付ける車両のくわしい資料については、「ソニーFAXインフォメーションサービス」(表面前下参照)をご利用することもできます。

本機の接続コードの色は、EIAJコードカラーに準拠しています。

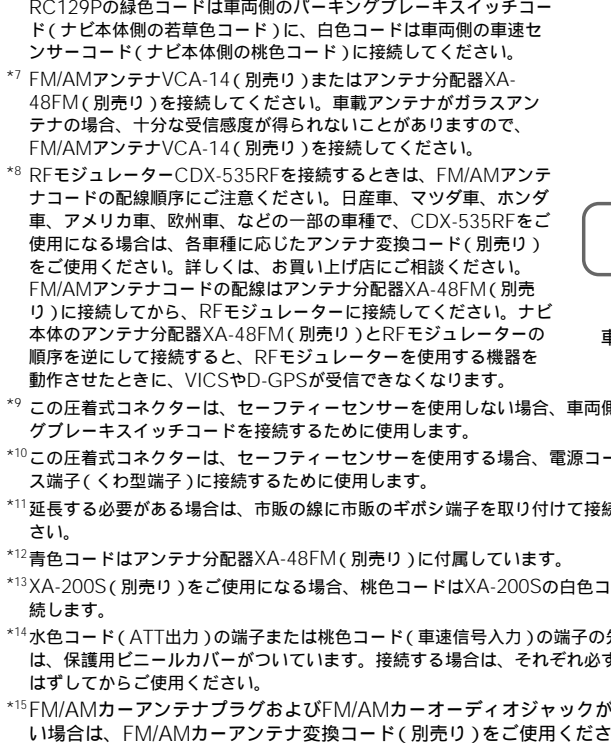
ショート事故を防ぐために 作業中のショート事故防止のため、電源コードのシガープラグ(または赤色コードと黄色コード)の接続は必ず最後に行ってください。

ヒューズの交換 ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。

**1** イグニッションスイッチにアクセサリポジションのない車には取り付けられません。  
**2** 安全のため、若草色コードは必ず車両側パーキングブレーキスイッチコードかまたはセーフティセンサー⑩に接続してください。  
**3** 保護素子は絶対に向きを逆に取り付けてください。

アクセサリ(ACC)電源へ<sup>1)</sup> (必ず先に、下のカーオーディオのアンテナコネクタへへの接続をしてください。)

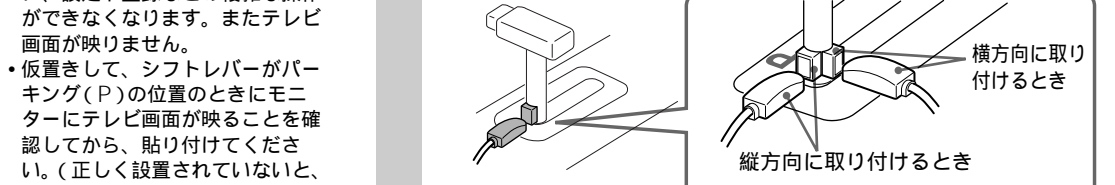
**2** 必ず車両側車速センサーコード、バックランプの電源コードに接続してください。また車速センサーコード、バックランプの電源コードについては、「ソニーFAXインフォメーションサービス」(表面前下参照)をご利用になるか、お買い上げ店にご相談ください。  
**3** 圧着式コネクタは保護素子より車側の位置で接続してください。  
**4** ナビ本体をトランクルームに取り付ける場合は、電源延長コードRC-129P(別売り)をお使いください。シガープラグコードは使用しないでください。  
**5** RC-129PはEIAJコードカラーに準拠していませんのでご注意ください。  
**6** RC129Pの緑色コードは車両側のパーキングブレーキスイッチコード(ナビ本体側の若草色コード)に、白色コードは車両側の車速センサーコード(ナビ本体側の桃色コード)に接続してください。  
**7** FM/AMアンテナVCA-14(別売り)またはアンテナ分配器XA-48FM(別売り)を接続してください。車載アンテナがガラスアンテナの場合、十分な受信感度が得られないことがありますので、FM/AMアンテナVCA-14(別売り)を接続してください。  
**8** RFモジュレーターCDX-535RFを接続するときは、FM/AMアンテナコードの配線順序にご注意ください。日産車、マツダ車、ホンダ車、アメリカ車、欧州車、などの一部の車種で、CDX-535RFをご使用になる場合は、各車種に応じたアンテナ交換コード(別売り)をご使用ください。詳しくは、お買い上げ店にご相談ください。  
**9** FM/AMアンテナコードの配線はアンテナ分配器XA-48FM(別売り)に接続してから、RFモジュレーターに接続してください。ナビ本体のアンテナ分配器XA-48FM(別売り)とRFモジュレーターの順序を逆に接続すると、RFモジュレーターを使用する機器を動作させたときに、VICSやD-GPSが受信できなくなります。  
**10** この圧着式コネクタは、セーフティセンサーを使用しない場合、車両側パーキングブレーキスイッチコードを接続するために使用します。  
**11** この圧着式コネクタは、セーフティセンサーを使用する場合、電源コードのアース端子(くわ型端子)に接続するために使用します。  
**12** 延長する必要がある場合は、市販の線径の異なるギボシ端子を取り付けて接続してください。  
**13** 青色コードはアンテナ分配器XA-48FM(別売り)に付属しています。  
**14** XA-200S(別売り)をご使用になる場合、桃色コードはXA-200Sの白色コードに接続します。  
**15** 白色コード(ATT出力)の端子または桃色コード(車速信号入力)の端子の先端には、保護用ビニールカバーがつけられています。接続する場合は、それぞれ必ずカバーをはずしてからご使用ください。  
**16** FM/AMカーアンテナプラグおよびFM/AMカーオーディオジャックが合わない場合は、FM/AMカーアンテナ変換コード(別売り)をご使用ください。



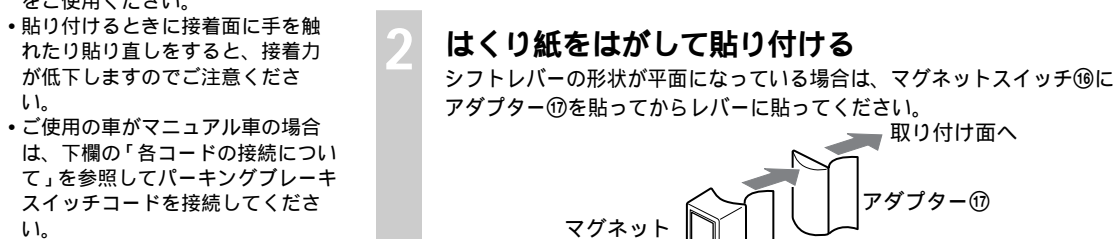
## セーフティセンサーの取り付けかたについて

安全のため、セーフティセンサー⑩をご使用の車のシフトレバーに取り付けます。接続については、上欄の「接続図」をご覧ください。ご使用の車がオートマチック車の場合に限りです。マニュアル車やコラムオートマチック車の場合は、下欄「各コードの接続について」をご覧ください。

**1** シフトレバーがパーキング(P)の位置のときに、セーフティセンサー⑩とマグネットスイッチ⑪の間に5mm以内になるように位置させる。リモコン⑧の取り付けまたは操作の妨げにならないかどうかを確認してください。(裏面「8」リモコンを取り付ける」参照)



**2** はくり紙をはがして貼り付ける。シフトレバーの形状が平面になっている場合は、マグネットスイッチ⑪にアダプター⑫を貼ってからレバーに貼ってください。



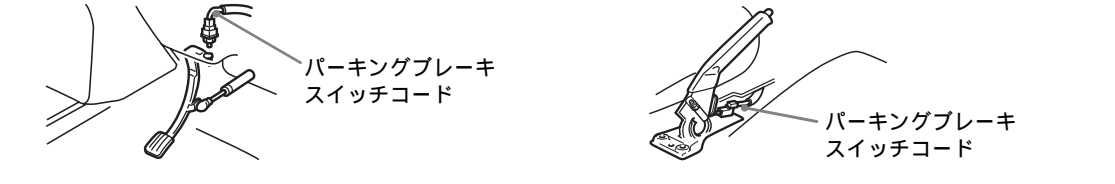
## 各コードの接続について

正確な測位、または安全のため、圧着式コネクタを使用して各コードを接続します。各コードの組み合わせについては、以下を参照してください。(本機の接続コードの色は、EIAJコードカラーに準拠しています。)

車両側	車両側
●ちよっと言 車速センサーコードおよびバックランプの電源コードの位置は車両によって異なりますので、「ソニーFAXインフォメーションサービス」(表面前下参照)をご利用になるか、お買い上げ店にご相談ください。	●ちよっと言 車速センサーコード
●ご注意 車両側の各コード(上記表参照)	●ご注意 車両側の各コード(上記表参照)

**圧着式コネクタ③の使いかた** 車両側の各コード(上記表参照) ナビ本体側のコード(上記表参照)

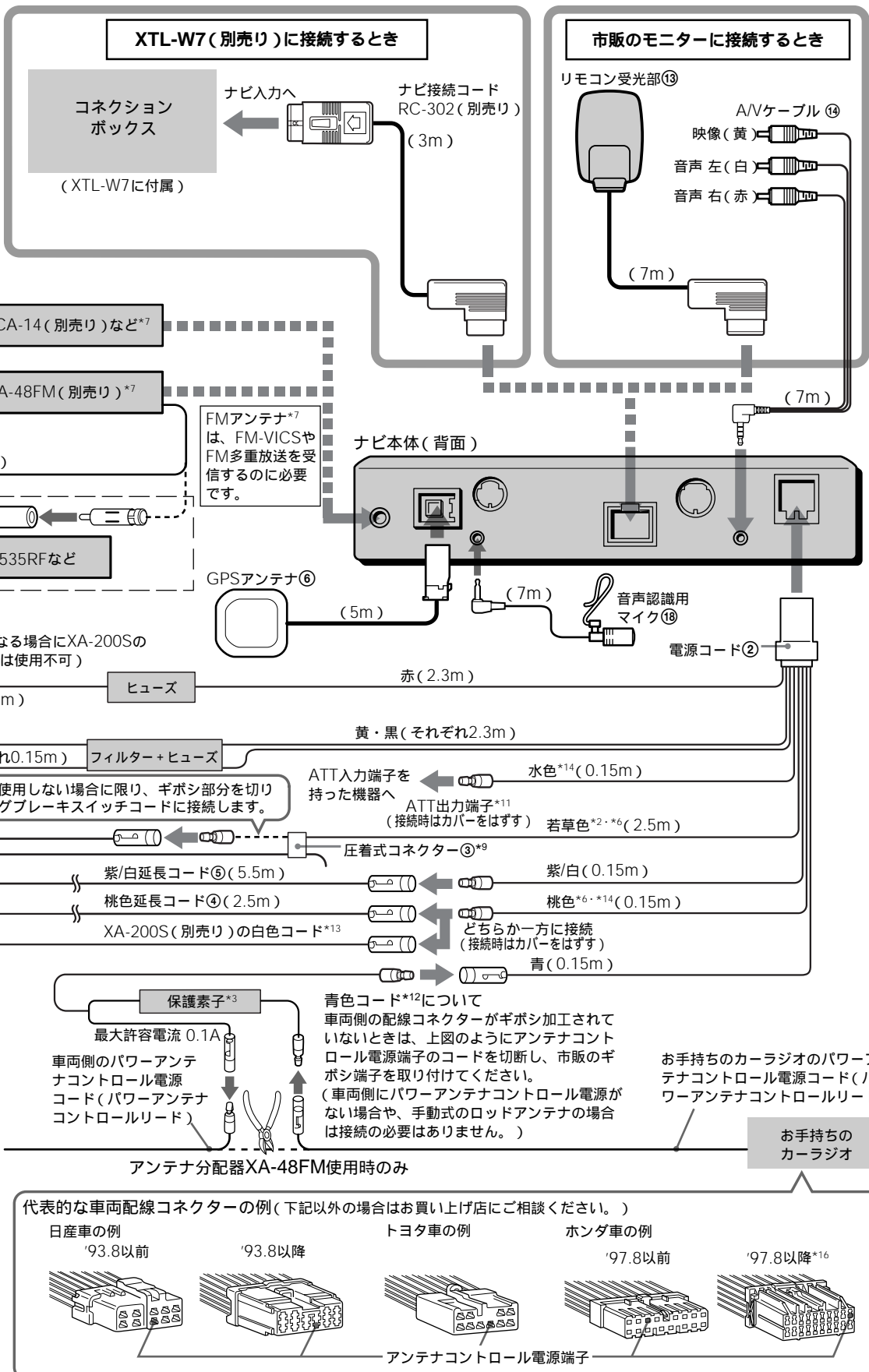
パーキングブレーキスイッチコードの位置について パーキングブレーキスイッチコードの位置は車両によって異なります。下図は代表的な例ですが、詳しくはお買い上げ店にご相談ください。パーキングブレーキがフットブレーキの場合



## 接続図

●ご注意

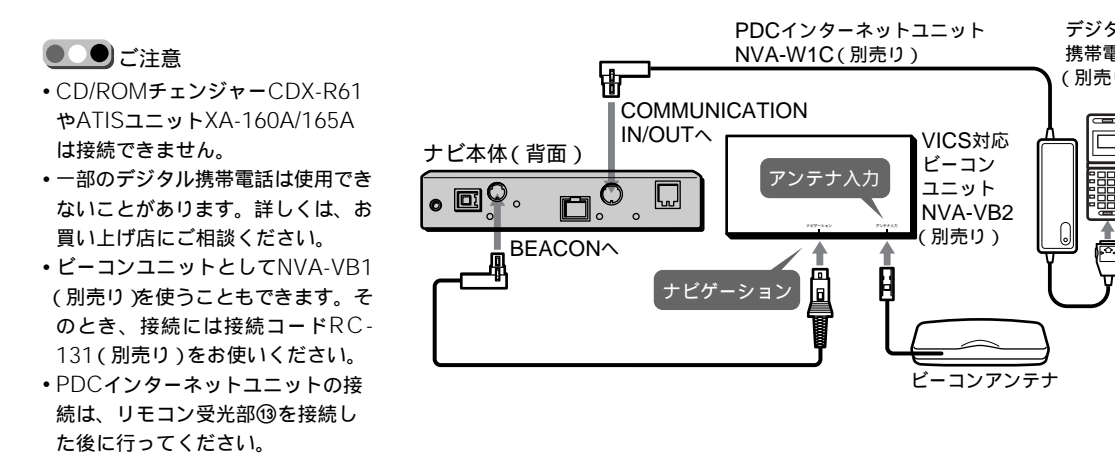
●ナビ本体とコネクションボックスは、できるだけ離して設置してください。近づけて設置すると、テレビ画面にノイズが出る場合があります。  
●TVアンテナはFM/AMアンテナから離して取り付けてください。  
●車のキーがOFFの位置でシガーソケットの電源が切れない車種には、シガープラグコードを使用できません。



<sup>1)</sup>対象車種は、アコードセダン、アコードワゴン、トルネオセダン、CR-V、オデッセイ、シビックRです。(1998年1月現在)

ナビ機能をよりよく活用するためのコード	
水色コード(ATT出力端子)	ソニー製カーオーディオでATT入力端子のあるセットに接続すると、ナビの音声ガイド時にカーオーディオの音量が自動的に下がります。この機能を使用しない場合、接続する必要はありません。
青色コード(アンテナリモット端子)	XA-48FMなどの別売りアンテナ分配器でFM-VICSのアンテナ入力にカーラジオのアンテナを利用する場合に接続します。車両側にパワーアンテナコントロール電源がない場合や手動式のロッドアンテナの場合は、接続する必要はありません。
紫/白色(バック信号入力)コード(バックランプ電源コード接続用)	バックランプ電源コードに接続すると、車両がバックしたときに生じる自車位置の誤差をなくすることができます。
桃色(車速信号入力)コード(車速センサーコード接続用)	車速センサーコードに接続すると、GPS衛星からの電波が正しく受信できないときでも自車位置の動きによって正しい自車位置を把握することができます。

## 別売り機器との接続について



## 取り付けが終わったら

コードは運転の妨げにならないようにまとめてください。コードがシフトレバーなどにかからまると、非常に危険です。

●ご注意 ドアやシート下のレールにコードがかからないようにしてください。コードがはさまって断線してしまうおそれがあります。